



なつのくも



本校ホームページ新
QRコードです。スマホ
などからも閲覧できま
す。ご活用ください。

第164号 (R5. 4. 6)

練馬区立光が丘夏の雲小学校

ご入学・ご進級おめでとうございます。

校長 宮林 伸之

春の暖かで柔らかな日差しの下、色鮮やかな花が咲き乱れる中で、本日、入学式、始業式を無事行うことができました。お子さまのご入学、ご進級おめでとうございます。

光が丘夏の雲小学校は、本日69名の新1年生を迎え、全校児童502名、17学級で新年度をスタートしました。今年度、「笑顔かがやく夏雲の子」「みんなで育てる夏雲の子」を目指して、教育活動を展開してまいります。

令和5年度スタートの職員会議において次の言葉を紹介しました。

「子供にとっての最大の教育環境は教師自身」

この言葉は、私の教育の原点です。

私は、子供たちが健やかに伸び伸びと成長していくには、外的環境をいくら整えても子供の成長には偏りが出てしまうと考えています。やはり、毎日関わる人間、なかんずく教師が子供にとっての最大の教育環境になると思っています。そのため教師は、常に自分の状況を捉え、人間性を高めていく必要があります。また、研究や研修に努めたり、教養を深めたりすることで自分を成長させていくことも重要となります。教師の成長が、子供たちの成長につながると常に意識し、成長し続ける教師集団を創りたいと思っています。

また、学校を支える職員も「夏雲小の児童のために」を合い言葉に連携を図り、教育活動を推進していきます。本校の教育活動に対するご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和5年度の学校経営の方針

【教育目標】

- 進んで学び 深く考える子供
- 思いやりをもって行動する子供
- 体をきたえやりぬく子供

【目指す学校】

- 子供の笑顔かがやく学校
- 教職員が協働する学校
- 家庭・地域との「共育」活動を推進し、家庭・地域から信頼される学校

【教育活動を行うときに大切にしたいこと】

- すべての児童が笑顔で登校し、自分の居場所があり、安心して学校生活を送れる

すべての児童に居場所（安心感・所属感）があり、なごやかで活気に満ち、豊かなつながりを実感できる集団づくりを大切にする。そのために、教師は「よく見る」「よく話を聞く」姿勢を保ち、子供に寄り添った指導をする。

- 学びの主体者としての基礎を培う

児童に学習への構えと集団行動の規律を身に付けさせ、落ち着いた学校生活を送らせること、基礎的な知識や技能、思考力、判断力、表現力等を育み、主体的に学習する態度を養うことを目指す。

- 家庭・地域の期待を受け止め、共に子供を育てる

学校評価の結果や、日常における家庭や地域の学校への期待や思いを真摯に受け止め、児童の願い、保護者の願い、地域の願い、学校の願いを教育活動に反映させていく。そして、児童の健やかな成長を願い、地域、保護者と学校が密接な連携を図り、開かれた学校づくりを目指す。

※学校経営の詳細については、保護者会時に説明いたします。